

**業況DIの現況判断は▲36、先行きは11p悪化の▲47を見込む  
～ 売上減少や仕入価格上昇、依然として厳しい情勢 ～**

【今回調査の結果概要】

- 業況DIの現況判断は▲36で、先行きは11ポイント（以下、p）悪化の▲47。
- 項目別では売上高DIの現況判断が▲35、営業利益DIは▲39となった。先行きは、売上高DIが13p悪化の▲48、営業利益DIは16p悪化の▲55。
- 労働力DIの現況判断は▲50、前回より6p悪化し人手不足感が依然として強い状況となっている。

（注）DIについて

業況判断、売上及び利益の増減、設備、労働力、在庫の過不足などについて、以下の式により、各項目のDIを算出。

$$DI = (\text{「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」とする回答企業の構成比}) - (\text{「悪い」、「減少」、「下落」、「不足」とする回答企業の構成比})$$

例) 業況が良いと回答した企業が15%、普通と回答した企業が64%、悪いと回答した企業が21%  
⇒ 15（良いと回答）－ 21（悪いと回答） で 業況判断DIは▲6（マイナス6）

【調査の対象・期間・方法等】

1. 調査対象企業	人吉市内会員事業所 279 事業所
2. 調査時期	2019年6月7日（金）～6月27日（木）
3. 対象期間	2019年4月～6月（令和元年度 第1四半期）
4. 回答状況	90 事業所（回収率 32.3%）

【回答企業数と構成比】

業種	企業数 (社)	構成比 (%)	業種	企業数 (社)	構成比 (%)
製造業	11	12.2	飲食業	10	11.1
建設業	10	11.1	サービス業	21	23.3
観光関連業	8	8.9	業種不明	4	4.4
卸・小売業	26	28.9	全体	90	100.0

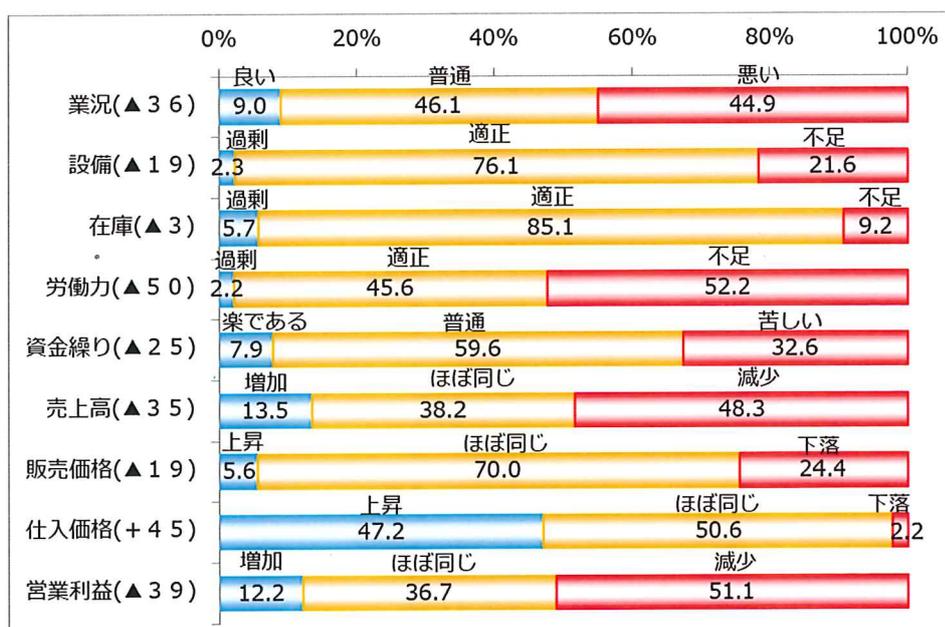
## 1. 概況

各項目の現況判断の回答結果は図表1のとおりである。

業況は「普通」という回答が46.1%で最も多く、「良い」が9.0%、「悪い」が44.9%となっている。業況DIは▲36となっており、前回調査より4ポイント悪化している。

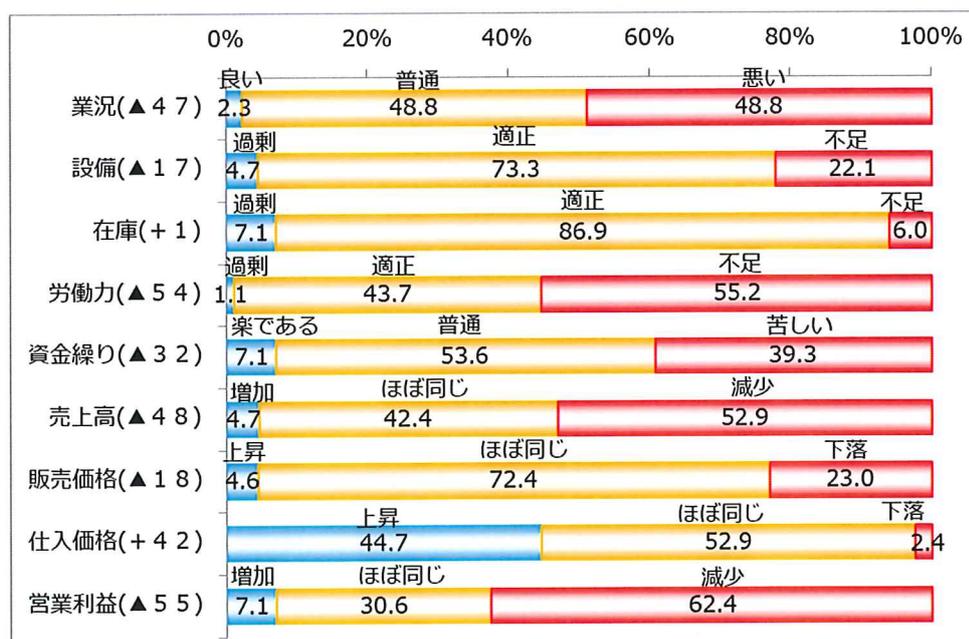
項目別にみると、「労働力」では「不足」という回答が52.2%で、人手不足感の強さが依然としてうかがえる。また売上高DIについては、▲35となっており、前回より4ポイント悪化し、仕入価格についても上昇という回答が47.2%で、収益の確保が厳しい状況がうかがえる。

図表1 項目別の現況判断



※項目名の ( ) 内の数字はそれぞれの調査項目のDI

## (参考) 項目別の先行き判断



## 2. 調査項目ごとの状況

### (1) 業況D I

業況D Iの現況判断は▲36で、業種別にみると「建設業」が±0で最も高い。「観光関連業」と「サービス業」で改善しているが、「建設業」「卸・小売業」で横ばい、「製造業」と「飲食業」で落ち込んでいる。

先行きは11p悪化の▲47で、業種別では「飲食業」で改善、残り全ての業種で悪化している。

図表2 業況D I

	2019年 1~3月期 (前回調査)	2019年 4~6月期 (今回調査)	前回調査比	2019年 7~9月期 (先行き)	今回調査比
全体	▲32	▲36	↓	▲47	↓
製造業	▲43	▲55	↓	▲73	↓
建設業	0	0	→	▲20	↓
観光関連業	▲86	▲38	↑	▲50	↓
卸・小売業	▲38	▲38	→	▲52	↓
飲食業	0	▲67	↓	▲38	↑
サービス業	▲29	▲24	↑	▲35	↓

### (2) 売上高D I

売上高D Iの現況判断は▲35で、前回調査比4ポイント悪化した。業種別にみると

「建設業」が±0で最も高く、「建設業」「観光関連業」「サービス業」で改善し、「製造業」「卸・小売業」「飲食業」の業種で悪化している。

先行きは13p悪化し▲48となり、業種別では「製造業」「飲食業」で改善し、残りの4業種（「建設業」「観光関連業」「卸・小売業」「サービス業」）で悪化している。

図表3 売上高D I

	2019年 1~3月期 (前回調査)	2019年 4~6月期 (今回調査)	前回調査比	2019年 7~9月期 (先行き)	今回調査比
全体	▲31	▲35	↓	▲48	↓
製造業	▲43	▲55	↓	▲50	↑
建設業	▲38	0	↑	▲40	↓
観光関連業	▲71	▲38	↑	▲63	↓
卸・小売業	▲45	▲50	↓	▲68	↓
飲食業	17	▲56	↓	▲38	↑
サービス業	▲29	▲5	↑	▲20	↓

### (3) 営業利益D I

営業利益D Iの現況判断は▲39で前回調査比4ポイントの悪化となった。業種別にみると「建設業」と「観光関連業」「サービス業」で改善しているが、残りの3業種では悪化している。

先行きは16p悪化の▲55で、業種別では「飲食業」で改善し、「観光関連業」は横ばい、残りの4業種（「製造業」「建設業」「卸・小売業」「サービス業」）で悪化している。

図表4 営業利益D I

	2019年 1~3月期 (前回調査)	2019年 4~6月期 (今回調査)	前回調査比	2019年 7~9月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲35	▲39	↓	▲55
製造業	▲29	▲55	↓	▲70	↓
建設業	▲25	0	↑	▲30	↓
観光関連業	▲71	▲63	↑	▲63	→
卸・小売業	▲41	▲50	↓	▲71	↓
飲食業	▲33	▲50	↓	▲44	↑
サービス業	▲33	▲10	↑	▲35	↓

### (4) 労働力D I

労働力D Iの現況判断は▲50で、前回調査比6ポイント下がり、依然として人手不足感の強い状況が続いている。業種別にみると「飲食業」（▲70）が最も人手不足感が強く、以下、「観光関連業」「サービス業」と続いている。

先行きは4ポイント低下の▲54で、業種別では「建設業」「サービス業」で改善し、残りの4業種（「製造業」「観光関連業」「卸・小売業」「飲食業」）で現況判断よりも人手不足感が強まっている。

図表5 労働力D I

	2019年 1~3月期 (前回調査)	2019年 4~6月期 (今回調査)	前回調査比	2019年 7~9月期 (先行き)	今回調査比
	全体	▲44	▲50	↓	▲54
製造業	▲57	▲27	↑	▲30	↓
建設業	▲50	▲50	→	▲40	↑
観光関連業	▲57	▲63	↓	▲75	↓
卸・小売業	▲21	▲35	↓	▲44	↓
飲食業	▲83	▲70	↑	▲80	↓
サービス業	▲52	▲62	↓	▲60	↑

### 3. 地域経済や業界動向等に関する自由記述

コメント	業種
売上高に関しては少し上向いている。仕入価格に関しては個別の材料等で急上昇するものもある。	製造業
令和への改元効果を少しは期待したがさほど売上高に伸びはなかった。	製造業
社員の高齢化により若手社員が不足。	建設業
GWを始めお客様の伸びが今一です。	観光関連業
ティシュペーパー・トイレトペーパー等の生活基本商材の値上がりが顕著となっています。	卸・小売業
人口減少と高齢化に伴い、総売り上げの減少が今後も予想される。人手不足解消のためにパートを募集しているが中々集まらない。	卸・小売業
消費増税による売り上げへの影響が心配だ。	卸・小売業
消費者の所得が上昇しない中で販売価格に転嫁する事は難しい。	卸・小売業
人吉市では人口が減り続けており、当店ユーザーの高齢化も進んでいるので益々厳しくなるだろうと…。設備を更新する気にもならない。	卸・小売業
ネットの普及や世帯数の減少で先行きも期待できない。	卸・小売業
原材料の高騰が続き利益確保が難しくなったため販売価格を上げた。現状も少しずつではあるが仕入れ価格が上昇している。	卸・小売業
天候や気温低下で前年より業況が悪い。GW10連休の反動もあるようです。	サービス業
人を募集しているが集まらなくて不足している。	サービス業
労働力不足に悩んでいます。	サービス業

#### 4. 特別テーマ「事業承継の意向等について」

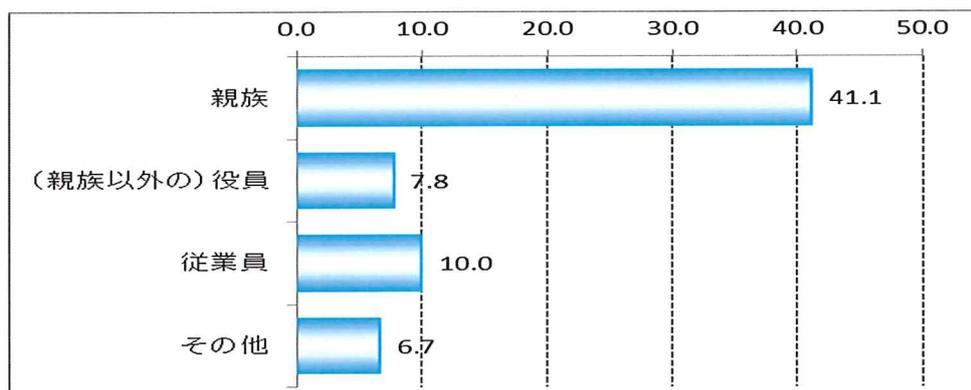
##### ○後継者候補の有無について

全体では「いる」という回答が66.7%で最も多く、「いない」が33.3%となっている。

「いる」回答を業種別にみると、「サービス業」が最も高く81.0%、以下「製造業」「飲食業」「建設業」「卸・小売業」「観光関連産業」の順となっている。

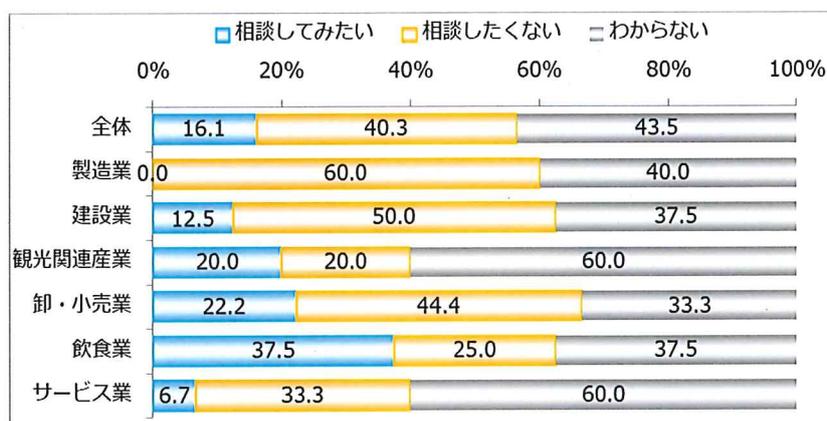


##### ○参考（後継者候補は、どなたですか？）



##### ○事業承継について外部の支援機関等に相談をしたいと考えますか？

全体では、「相談したくない」という回答が40.3%で最も多く、「わからない」という回答も多かった。事業承継には時間がかかるという認識もあり早めの対策を講じなければいけない。



○事業承継に対する考え方（自由記述）

コメント	業種
独特な事業なので事業継承は難しいです。	製造業
税理士と相談中。	製造業
息子に承継出来ないので親族を継承者とする予定。屋号と事業内容はそのままに安全売却をしたい。	製造業
先細りが懸念されるので事業を終わらせる事を考えている。	観光関連業
長期的な視野で様子を見ております。	卸・小売業
自分たちの代で終わりたいと思っている。専門的な知識も必要としているので難しいと思います。	卸・小売業
M&Aを含め色々検討中。	卸・小売業
特殊事業のため、後継者もないし、自分たちも高齢のため、あと数年しか営業できないと思っている。育成には数年かかるので時間がない。	卸・小売業
若手の人材が確保できないと事業の承継は困難。	サービス業